

城西国際大学水田美術館年報

第19号

2022(令和4)年度

19

目次

I 沿革	2
II 展覧会	
II-1 開館日数・入館者数	3
II-2 展覧会記録	4
II-3 これまでの展覧会一覧	19
III 教育普及	
III-1 講演会・ギャラリートーク等	24
III-2 団体来館者への協力	24
III-3 体験コーナー等	24
IV 収集	
IV-1 新収蔵資料	25
IV-2 新収蔵図書	25
V 城西国際大学水田美術館概要	
V-1 組織図	26
V-2 施設	26
V-3 利用案内	26

## I 沿革

- 1905年（明治38） 4月13日、水田三喜男、千葉県安房郡曾呂村に生れる。
- 1928年（昭和3）頃 京都帝国大学在学中、浮世絵に関心を持つ。  
戦前、浮世絵を数点購入するが、戦災で失う。
- 1946年（昭和21） 第22回衆議院選挙で自由党から出馬、初当選。  
戦後、ふたたび浮世絵収集を始める。
- 1960年（昭和35） 第1次池田内閣、大蔵大臣。以後7回、12年にわたり大蔵大臣を務める。
- 1963年（昭和38） 「水田コレクション特集」（『季刊浮世絵』第6冊特別増刊号、緑園書房）。
- 1965年（昭和40） 学校法人城西大学を設立、城西大学（埼玉県坂戸市）開学、初代理事長兼学長となる。
- 1973年（昭和48） 中国葛飾北斎展開催、日中文化交流使節団長として訪中。
- 1976年（昭和51） 12月22日、病気にて急逝、享年71。  
学校法人城西大学に「水田コレクション」寄贈される。
- 1979年（昭和54） 城西大学に水田美術館開館。
- 1992年（平成4） 城西国際大学（千葉県東金市）開学。
- 1998年（平成10） 城西国際大学本部棟3階にギャラリー開設、春秋の「水田コレクション」特別公開始まる。
- 2001年（平成13） 城西国際大学開学10周年。  
図書館棟1階に城西国際大学水田美術館開館。
- 2009年（平成21） 水田家より鈴木春信《六玉川》が寄贈される。
- 2011年（平成23） 城西大学水田美術館が新装開館。
- 2013年（平成25） 水田家より宮川長春《江戸風俗図巻》など肉筆浮世絵5点、上村松園《美人納涼図》など近代日本画7点が寄贈される。

## II 展覧会

### II-1 開館日数・入館者数

総計	*2022年3月～2023年2月		
	展覧会	特別開館	合計
日数	99日	4日	103日
人数	3,420名	40名	3,460名

### 内訳

\*入館者数の「学生」「教職員」は、本学在学、在職の者を指す。  
\*臨時開館を含む。

回数	展覧会名	会期	延日数	学生	教職員	一般	合計
96	城西国際大学メディア学部クロスメディア コース卒業制作優秀展 2022	2022年3月12、24、26日、4月2、6～12日	9日	124名	32名	70名	226名
97	斉藤好和 イラストレーション展 41年間の足あと (1980-)	2022年5月17日～6月17日	24日	434名	132名	436名	1002名
98	MADE IN OCCUPIED JAPAN ㊦ アメリカに渡った陶製人形	2022年7月5～30日、8月27、31日	22日	177名	57名	632名	866名
99	近代日本画コレクション 茂原の素封家と画家との交流	2022年9月27日～10月22日、9月24日、10月17日	22日	176名	37名	328名	541名
100	水田コレクション展 四季の風物詩	2022年11月5～26日、12月3日	17日	134名	33名	455名	622名
101	写真展 スウェーデンのパパたち	2022年12月13～17日	5日	61名	46名	56名	163名
	特別開館 (学内行事にあわせて開館) 浮世絵ってなに？	2023年2月9、10、22、28日	4日	4名	8名	28名	40名

## II-2 展覧会記録

### 96 城西国際大学メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展 2022

2022年3月12日(土)、26日(土)、4月2日(土)、6日(水)～12日(火)

臨時開館：3月24日(木)

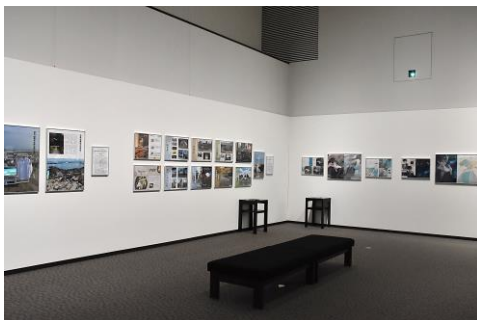
城西国際大学メディア学部クロスメディアコースは、今年3月に18回目の卒業生を送り出した。メディア新時代に対応した学部教育の基本コンセプト「情報・映像・デザイン・サウンドをクロスして学び、新しいメディアのかたちをつくる」に沿って研鑽を積んできた学生諸君の4年間の成果の発表の場として、卒業制作優秀展を開催した。メディア学部の教育成果を提示し、ご批評いただきながら教育内容のさらなる充実をめざしていく機会となった。



#### 出品目録

1. 鈴木瞳 《5 Colors》 イラストレーション／小波津美香ゼミ
2. 申昇煥 《様々なテーマ旅行ができる大田 (デジョン)》 グラフィックデザイン／斉藤好和ゼミ
3. 菅家千妃呂 《海洋ゴミを使ったスペキュラティブデザイン》 グラフィックデザイン／戸田傑ゼミ
4. 阿部晃大 《Factory》 3DCG アニメーション／斉藤好和ゼミ
5. Luu Thi Khanh Huyen 《夢を追いかけて！》 ドキュメンタリー／島野義孝ゼミ
6. 韓佳 《千葉にいる》 ドキュメンタリー／島野義孝ゼミ
7. 伊藤真樹 《オーブ～桜舞～》 作曲／Jiro N. Plutschow ゼミ
8. 橋本真吾 《PINBALL》 3D ゲーム／中嶋正夫ゼミ
9. 小川男人 《DIBA (Defense is the best action)》 3D ゲーム／中嶋正夫ゼミ

ポスター・チラシ制作：メディア学部クロスメディアコース4年 阿部晃大



97 齊藤好和 イラストレーション展  
41年間の足あと(1980ー)

2022年5月17日(火)～6月17日(金)

本学メディア学部特任教授・齊藤好和のこれまでの創作活動を振り返った展覧会。齊藤は武蔵野美術大学卒業後、イラストレーターとして広告や雑誌などで活躍し、数々の作品を発表してきた。本展では初期の鉛筆画から、カラフルなイラストレーションやリノリウム版画、粘土や発泡スチロールによって形づくられた「立体イラスト」などを紹介した。わくわくさせる遊び心満載の齊藤ワールドをお楽しみいただいた。



出品目録

\*すべて作家蔵

[立体イラストレーション]

1. 《ダンス》1996年
2. 《愛のカタチ》1997年
3. 《進化》1998年
4. 《昆虫採集》1993年
5. 《給食の時間》1994年
6. 《野球少年》1994年
7. 《戒厳令》1992年
8. 《可能性》1995年
9. 《やさしい青くん》2002年
10. 《長靴をはいたミドリ》2002年
11. 《ヤマブキ星人》2002年
12. 《モザイクサボテン》2003年
13. 《エガオのゆくえ》2006年
- 14-16. 《そら豆ブラザーズ》2005年
17. 《荒野に立つ》2003年
18. 《モザイクハート》2004年

19. 《くちびる》2005年
20. 《寄り添う2人》2003年
21. 《温室育ち》2000年
22. 《コレクションBOX 招き猫》1997年
23. 《コレクションBOX サボテン》1995年
24. 《コレクションBOX 太極拳》1996年
25. 《コレクションBOX サボテン》1995年

[リノリウム版画・デジタル加工]

26. 《忍者》2003年
27. 《バク》2017年
28. 《ツチブタ》2017年

[イラストレーション]

29. 《花力発電》2017年
30. 《咲き誇る春》2018年
31. 《まどろみ》2019年
32. 《森の中へ》2020年
33. 《希望に満ちて》2020年

34. 《天まで届け》2020年
  35. 《見え隠れするもの》2019年
- [鉛筆画]
36. 《密航前夜 表紙》1980年
  37. 《密航前夜 夜の街》1980年
  38. 《密航前夜 毒の花の咲く丘で》1980年
  39. 《密航前夜 ひとり遊び》1980年
  40. 《密航前夜 異父兄妹》1980年
  41. 《皆既月食 少年うさぎ》1997年
  42. 《皆既月食 赤い靴》1997年
  43. 《皆既月食 裏庭 廃車》1997年
  44. 《皆既月食 大玉転がし》1997年
45. 《皆既月食 トビウサギ》1997年
  46. 《皆既月食 リュウグウノツカイ》1997年
  47. 《皆既月食 修理》1997年
  48. 《楽園》1985年
  49. 《夜の校舎裏》1986年
  50. 《未来兄妹》1992年
- [イラストレーション]
51. 《ボール遊び》2018年
  52. 《おやつ》2018年
  53. 《少年ウサギ》2018年
  54. 《ヤマイヌ》2018年
  55. 《ニホンカモシカ》2018年

館内放映：スライドショー「デジタルイラストレーション」5分

広報記録：「立体造形や鉛筆画など 55点 城国大・斉藤好和さん作品展」(『千葉日報』2022年5月20日)、「城西国際大特任教授・斉藤好和さん 41年間振り返るイラスト展」(『毎日新聞』2022年5月31日)、ちばイベントガイド欄 (『読売新聞』2022年5月20日)、Art欄 (『月刊ぐるっと千葉』2022年5月号)



## 98 MADE IN OCCUPIED JAPAN ①

### アメリカに渡った陶製人形

2022年7月5日(火)～30日(土)

臨時開館：8月27日(土)、31日(水)

戦後のGHQ占領下、民間貿易が再開された1947年(昭和22年)から1952年まで、日本の輸出品には「Made in Occupied Japan(占領下の日本製)」と刻印された。おもにアメリカに向けて陶磁器や漆芸品、金工品、おもちゃ、カメラなど、様々な製品が輸出され、近年では、これらはコレクターズアイテムとなって親しまれている。2019年、アメリカで収集したコレクターより、陶磁器を中心に約900件のオキュパイドジャパン(OJ)コレクションが本学に寄贈された。このたびの展覧会では、OJコレクションを公開する第一弾として、陶製人形を紹介した。フィギュリンやノベルティと呼ばれる陶製人形は、戦前より瀬戸などで生産、輸出され、ドイツ製の磁器人形の代わりとして、アメリカで人気があった。戦後、輸出が再開されると、17、18世紀のヨーロッパの衣装をまとったマイセン風の男女やハンメル風の子どもたち、天使や妖精など、精巧なビスク人形から、安価で素朴な人形まで、膨大な数の人形が海を渡っていった。戦後の貿易再建を支え、およそ70年ぶりに日本に帰ってきたOJコレクションをお楽しみいただいた。



#### 出品目録

\*すべて当館蔵

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 1. 《光輪を打つ天使》                              | 16. 《寄り添う男女》                          |
| 2. 《スワン形そりに乗る女性と天使センターピース》<br>丸山陶器(アンドレア) | 17. 《寄り添う男女》                          |
| 3. 《男性と貝コンポート》                            | 18. 《リュートと男女》                         |
| 4. 《貝を掲げる天使コンポート》<br>丸山陶器(アーダルト)          | 19. 《羊飼の男女》                           |
| 5. 《貝を掲げる天使コンポート》                         | 20. 《寄り添う男女ランプ》 chikusa               |
| 6. 《アコーディオンを弾く天使花瓶》<br>丸山陶器(アンドレア)        | 21. 《リュートを楽しむ男女と天使ランプ》<br>丸山陶器(アーダルト) |
| 7. 《カジキに乗る天使の器》                           | 22. 《男女燭台》                            |
| 8. 《天使と花の器》                               | 23. 《寄り添う男女たばこ入れ・灰皿》<br>PAULUX        |
| 9. 《天使とペガサスプランター》                         | 24. 《羽根付き帽子の男女》 石原陶器貿易                |
| 10. 《笛を吹き歌う天使》 丸山陶器(アンドレア)                | 25. 《花籠を持つ女性》                         |
| 12. 《腰かける男女花瓶》 PAULUX                     | 26. 《羽根付き帽子の女性》                       |
| 13. 《馬車と男女》                               | 27. 《青い花を持つ女性》 石原陶器貿易                 |
| 14. 《馬車と男女》 PAULUX                        | 28. 《花を持つ女性》                          |
| 15. 《踊る男女》                                | 29. 《扇を持つ女性花瓶》                        |
|   | 30. 《オウムと女性》                          |



31. 《椅子に座る女性》
32. 《読書する女性》
33. 《椅子に座る男女》
34. 《水色のコートの男性》
35. 《バラを持つ男性》
36. 《男性の胸像》
37. 《男性の胸像》
38. 《女性の胸像》
39. 《柵にもたれる女性》
40. 《バラを摘む青年》丸山陶器（アンドレア）
41. 《読書する女性・扇を持つ女性》  
丸山陶器（アンドレア）
42. 《緑のエプロンの女性》
43. 《花籠を持つ女性》
44. 《花籠を持つ女性》
45. 《歌う女性》
46. 《犬と女性》
47. 《傘を持つ女性》
48. 《赤い帽子の女性》
49. 《ピンクのリボンの女性》
50. 《緑の帽子の女性》
51. 《扇を持つ女性》
52. 《黄色い帽子の女性》
53. 《葡萄を摘む女性》
54. 《青い靴のバレリーナ》
55. 《青い花を持つバレリーナ》
56. 《赤い靴のバレリーナ》
57. 《籠を持つ女性》
58. 《オランダの青年》
59. 《籠を持つ女性》
60. 《オランダ少年・少女ベル》
61. 《花籠を持つ男性》
62. 《袋を担ぐ男性》
63. 《マンドリンと花を持つ男性》
64. 《戦士》
65. 《ピアノを弾く女性》
66. 《バージナルを弾く男女》丸山陶器
67. 《ピアノを弾く女性》
68. 《ピアノを弾く男性》
69. 《バイオリンを弾く男性》
70. 《バイオリンを弾く男性》
71. 《フルートを吹く男性》
72. 《チェロを弾く女性》
73. 《マンドリンを弾く女性花瓶》
74. 《マンドリンを弾く男性》
75. 《マンドリンを弾く女性》
76. 《マンドリンを弾く男性》
77. 《クラリネットを吹く男性・マンドリンを弾く女性》
78. 《アコーディオンを弾く男性》
79. 《チェロを弾く少年》
80. 《バイオリンを弾く少年》
81. 《バイオリンを弾く少年》
82. 《ギターを弾く少年》
83. 《バイオリンを弾く少女》
84. 《クラリネットを吹く少年・バイオリンを弾く少女》
85. 《クラリネットを吹く少年・マンドリンを弾く少女》
86. 《クラリネットを吹く兄妹》
87. 《クラリネットを吹く少年》田代商店
88. 《チューバを吹く少年》
89. 《太鼓とカスタネットを叩く少年》
90. 《太鼓を叩く少年》
91. 《アコーディオンを弾く少年》
92. 《ヒヨコと少年》石原陶器貿易
93. 《豚と少年》
94. 《杖を持つ少年・傘を持つ少女》
95. 《花籠を持つ少女》
96. 《犬と少年》
97. 《本を読む少年》
98. 《鹿と少女》PAULUX
99. 《そりに乗る少年》
100. 《スキーをする少年》
101. 《アメリカンチルドレン》お絵描き
102. 《少年少女ブックエンド》
103. 《花を持つ少女》
104. 《籠と花を持つ少女》
105. 《花籠を持つ少女・ウサギと少女・キューピーを抱く少女》四ツ葉陶器
106. 《座るオランダの少年少女》
107. 《中国人花瓶》瀬栄
108. 《中国人》瀬栄
109. 《中国人と手押し車ブランター》瀬栄
110. 《中国人》
111. 《人力車ブランター》
112. 《傘をさす少女の器》
113. 《中国人》

114. 《籠を持つ中国人》
115. 《鉞を叩く中国人》
116. 《ラッパを吹く中国人》
117. 《二胡を弾く中国人》
118. 《座る中国人》
119. 《ダンサー》
120. 《ダンサー》丸山陶器（アーダルト）
121. 《笛を吹く若衆》
122. 《笛を吹く侍・太鼓を叩く侍》
123. 《長いコートの少年少女》
124. 《赤頭巾の女性》
125. 《バンジョーを弾く少年プランター》
126. 《アヒルと少女》石原陶器貿易
127. 《鶏と少年》
128. 《人形を抱く少女》
129. 《黄色い車と少年》
130. 《少女と壺》
131. 《籠を持つ少女プランター》
132. 《傘を持つ少年》
133. 《傘と花束を持つ少年》
134. 《鞆を持つ少年》
135. 《人形を持つ少女》
136. 《犬と少年》
137. 《犬と少年・鶏と少女》
138. 《鶏と少女》
139. 《ウサギと少女》
140. 《ローレライと壺》MOCCO
141. 《大天使》
142. 《ホルンを吹く天使燭台》
143. 《魚に乗る少女》
144. 《天使と葡萄籠プランター》
145. 《天使と籠プランター》
146. 《蝶に乗る天使》
147. 《ギターを弾く天使》
148. 《天使と籠プランター》
149. 《鳩と天使》
150. 《葡萄と天使》
151. 《マンドリンを弾く天使・歌う天使》
152. 《天使のベル》
153. 《アコーディオンを弾く天使》
154. 《フルートを吹く天使》
155. 《バイオリンを弾く天使》
156. 《チェロを弾く天使》
157. 《扇を持つ中国人》
158. 《中国人》
159. 《女性が担ぐ天秤の器》
160. 《メキシコ人ブックエンド》
161. 《メキシコ人とパイナップルの器》
162. 《黄色帽子の中国人》
163. 《扇を持つ中国人》
164. 《扇を持つ中国人》
165. 《少女と籠の器》
166. 《女性とロバ車の器》
167. 《女性と手押し車の器》
168. 《ピエロと卵の器》
169. 《ピエロと壺》
170. 《サクスを吹くピエロ》
171. 《黒い服のピエロ》瀬栄
172. 《アコーディオンを弾くピエロ》
173. 《アコーディオンを弾くピエロ》
174. 《カマキリに乗る妖精》
175. 《虫と妖精》
176. 《紫の妖精・黄緑の妖精》
177. 《てんとう虫の楽団》
178. 《てんとう虫の楽団》

館内放映：スライドショー「Made in Occupied Japan」4分

ポスター・チラシ制作：メディア学部ニューメディアコース4年 海上健人

広報記録：「占領下日本の陶製人形 色合い鮮やか178点」（『毎日新聞』2022年7月13日）、「キャンパスで親しむアートと文化」（『シティライフ』2022年7月16日）、Art欄（『月刊ぐるっと千葉』2022年8月号）



## 99 近代日本画コレクション

### 茂原の素封家と画家との交流

2022年9月27日(火)～10月22日(土)

臨時開館：9月24日(土)、10月17日(月)

大正・昭和期の政財界、美術界で活躍した人々と交流した素封家の日本画コレクションを紹介した。収集者の片岡善雄(1885～1970)は、千葉県茂原市早野の地主の家に生まれ、東京の中学に進学し、一時期、政治家・後藤新平のもとで働き、帰郷後には農地改革に尽力した地元の名士。同時に片岡は、芸術文化を深く理解し、岩田正巳、河内舟人、森白甫ら、東京画壇の画家たちを支援した。作品とともに残された書簡からは、片岡が度々上京して画家を訪ね、展覧会で作品を鑑賞し、戦中・戦後の厳しい状況下では精神と物資の両面で彼らを支えていたことがうかがわれる。また、洋館を備える広大な邸宅に画家を招くこともあった。

そうした交流から生まれたコレクションは、床の間に飾るにふさわしい掛軸を中心に、諸家による画帖や色紙集などからなる。一地方の素封家に慈しまれ、大切に伝えられた作品の数々をお楽しみいただいた。



#### 出品目録

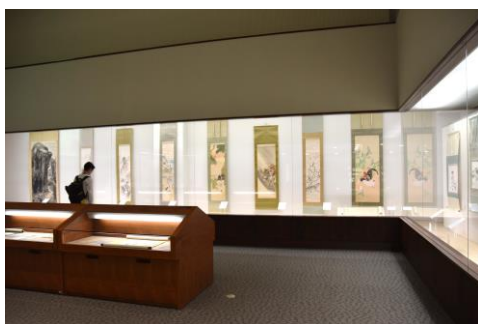
1. 岩田正巳《神勅奏上図》昭和20年(1945)頃／絹本着色／1幅／43.4×50.5 cm／個人蔵
2. 河内舟人《だるま》紙本着色／1幅／43.0×50.8 cm／個人蔵
3. 森白甫《鳩》紙本着色／1幅／45.8×51.7 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
4. 川手青郷《葡萄》紙本着色／1幅／36.3×44.3 cm／個人蔵
5. 西沢笛畝《鶏頭花》紙本着色／1幅／43.0×53.2 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
6. 西沢笛畝《双鶏》絹本着色／1幅／138.0×49.6 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
7. 岡田雄麿《錦木》紙本着色／1幅／135.0×30.8 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
8. 小山友郷《猛虎嘯風図》絹本着色／1幅／111.6×41.9 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
9. 小山栄達《高砂》絹本着色／1幅／127.0×35.4 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
10. 河内舟人《山村春色》紙本着色／1幅／133.7×30.8 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
11. 福田浩湖《夏景山水》大正13年(1924)／紙本墨画／1幅／132.0×32.6 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
12. 福田浩湖《秋景山水》昭和15年(1940)／紙本墨画淡彩／1幅／136.5×33.8 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
13. 陣内松齡《武陵桃源之図》昭和2年(1927)／紙本着色／1幅／175.0×90.3 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
14. 岩田正巳《北条時宗》紙本墨画／1幅／26.7×23.6 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
15. 岩田正巳《梅をもつ童子》紙本着色／1幅／26.5×23.5 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵

16. 岩田正巳《勝栗》紙本着色／1幅／26.2×23.4 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
17. 岩田正巳《紅梅》「晴耕雨読冊」より／紙本着色／画帖1冊のうち／24.0×17.9 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
18. 河内舟人《雛祭》昭和20年（1945）頃／絹本着色／1幅／47.5×54.7 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
19. 河内舟人《川遊び》紙本着色／まくり1枚／26.5×53.8 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
20. 河内舟人《囲炉裏端》紙本着色／まくり1枚／26.0×53.5 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
21. 小川千甕《増産》昭和30年代（1955～64）／紙本着色／1幅／40.2×44.9 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
22. 西沢笛畝《鳩》昭和30年（1955）／紙本着色／色紙1面／27.3×24.5 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
23. 横田仙草《ばら》紙本着色／色紙1面／27.2×24.2 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
24. 横田仙草《茄子と茗荷》紙本着色／色紙1面／27.2×24.2 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
25. 山本丘人《朝顔》紙本着色／1幅／21.2×22.6 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
26. 森白甫《水仙》紙本着色／1幅／26.5×23.5 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
27. 吉田登穀《桃》紙本着色／1幅／21.2×18.1 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
28. 河内舟人《山村秋色》紙本着色／額1面／51.4×72.7 cm／個人蔵
29. 山下新太郎《葡萄》紙本着色／1幅／39.2×44.5 cm／個人蔵
30. 有島生馬《桃》紙本着色／1幅／41.0×45.7 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
31. 有島生馬《牡丹》紙本着色／1幅／41.2×45.7 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
32. 中沢弘光《銚子犬吠》紙本着色／1幅／45.7×39.8 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
33. 今関啓司《冬》紙本淡彩／1幅／149.5×36.4 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
34. 今関啓司《水郷之図》紙本墨画淡彩／1幅／57.1×53.7 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
35. 川端茂章《青緑山水図》大正10年（1921）／絹本着色／1幅／139.5×41.3 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
36. 山田敬中《梅館談玄図》絹本着色／1幅／130.5×40.5 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
37. 猪瀬東寧《夏景山水》明治31年（1898）／絹本墨画淡彩／1幅／139.5×42.1 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
38. 後藤新平《七言絶句》大正5年（1916）／紙本墨書／1幅／137.7×65.3 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵
39. 洞巖、河内舟人、渋沢栄一《貼交屏風》紙本墨画・墨書・着色／2曲1隻／14.8×48.4 cm、26.5×34.6 cm、21.6×54.2 cm、13.0×42.3 cm／茂原市立美術館・郷土資料館蔵

館内放映：スライドショー「片岡善雄と画家との交流」9分

ポスター・チラシ制作：メディア学部ニューメディアコース4年 町田聖奈

広報記録：「茂原出身の名士・片岡善雄 日本画コレクション初公開」（『千葉日報』2022年10月5日）、Art欄（『月刊ぐるっと千葉』2022年9月号、10月号）



## 100 水田コレクション展 四季の風物詩

2022年11月5日（土）～26日（土）

臨時開館：12月3日（土）

私たちが暮らしている日本は、四季折々の豊かな自然と風土に恵まれている。その生活の中で生まれた季節の移ろいへの鋭敏な感覚は、歌枕として知られる土地と季節や時間が結びついた名所絵や、十二ヶ月の風物を描いた月次絵などの絵画を生み出してきた。そして江戸時代に花開いた浮世絵にも、年中行事や庶民に親しみ深い季節の風物が描かれた。

このたびの展覧会では、季節の情感が表された作品を展示した。なかでも《賀茂競馬図屏風》は、五月の年中行事を描きつつ、人物の風俗をより身近にとらえた賑やかな作品。その他、虫の音を聞きながら読書する女性や、九月の「重陽の節句」で菊酒を嗜む美人を描いた作品に加え、特別出品として東金市所蔵の指定有形文化財・朝岡興禎筆《春秋田園風俗図屏風》を展示した。季節ごとの様々な暮らしの風情をお楽しみいただく機会となった。



### 出品目録

\*すべて当館蔵

1. 伝英一蝶《賀茂競馬図屏風》江戸時代前期（17世紀）／紙本着色／6曲1双／各118.0×283.2 cm
2. 朝岡興禎《春秋田園風俗図屏風》江戸時代後期（19世紀）／紙本着色／6曲1双／各156.2×350.5 cm／東金市蔵／指定有形文化財
3. 無款《浄瑠璃十二段草子》江戸時代後期（19世紀前半）／紙本着色／1幅／47.0×24.2 cm
4. 梅祐軒勝信《蚊帳美人図》正徳～享保（1711～36）頃／絹本着色／1幅／41.6×58.7 cm
5. 菱川師宣《虫籠美人図》江戸時代前期（17世紀末）／絹本着色／1幅／29.0×43.6 cm
6. 二代歌川広重《待乳山雪景図》安政6年～慶応元年（1859～65）／紙本着色／1面／49.5×80.1 cm
7. 長原梅園・平井連山《太夫雛祭り図》天保～安政（1830～60）／絹本着色／1幅／87.4×31.8 cm
8. 月岡芳年《金太郎図》明治20～25年（1887～92）／絹本着色／1幅／88.4×36.9 cm
9. 魚屋北溪《醉余美人図》文政～天保（1818～44）／絹本着色／1幅／110.0×54.9 cm
10. 無款《鉢の木図》江戸時代／紙本着色／1幅／45.9×66.5 cm
11. 宮川長春《江戸風俗図巻》享保（1716～36）／絹本着色／2巻／上巻31.8×587.9、下巻31.8×591.9 cm
12. 楊洲周延《東風俗福つくし ふくわうち》明治22年（1889）／大判錦絵／版元＝武川卯之吉
13. 山本昇雲《今すがた 羽子あそび》明治42年（1909）／大判錦絵 版元＝松木平吉
14. 宮川春汀《当世風俗通 ひなまつり》明治32年（1899）／大判錦絵3枚続／版元＝福田初次郎
15. 鈴木春信《六玉川 高野の玉川》明和4年（1767）頃／中判錦絵／版元未詳
16. 宮川春汀《小供風俗 汐干がり》明治29年（1896）／大判錦絵／版元＝秋山武右衛門

17. 月岡芳年《風俗三十二相 うれしさう 明治稔間当今芸妓之婦宇曾久》明治 21 年（1888）／大判錦絵／版元＝網島亀吉
18. 宮川春汀《小供風俗 さつき人形》明治 30 年（1897）／大判錦絵／版元＝秋山武右衛門
19. 山本昇雲《子供あそび 蓮見》明治 39 年（1906）／大判錦絵／版元＝（松木平吉）
20. 宮川春汀《小供風俗 タすずみ》明治 29 年（1896）頃／大判錦絵／版元＝秋山武右衛門
21. 月岡芳年《風俗三十二相 すずしさう 明治五六年以来芸妓の風俗》明治 21 年（1888）／大判錦絵／版元＝網島亀吉
22. 小林清親《武蔵百景之内 下総真間弘法寺》明治 17 年（1884）／大判錦絵／版元＝小林鉄次郎
23. 山本昇雲《今すがた つるし柿》明治 39 年（1906）／大判錦絵／版元＝松木平吉
24. 月岡芳年《風俗三十二相 あつたかさう 寛政年間町家後家の風俗》明治 21 年（1888）／大判錦絵／版元＝網島亀吉
25. 山本昇雲《子供あそび 園の雪》明治 39 年（1906）／大判錦絵／版元＝（松木平吉）
26. 宮川春汀《小供風俗 たけうま》明治 30 年（1897）／大判錦絵／版元＝秋山武右衛門

館内放映：スライドショー「屏風作品の鑑賞」9分、「江戸風俗図巻の鑑賞」6分

ポスター・チラシ制作：メディア学部ニューメディアコース 4 年 山本紘平

広報記録：「びょうぶや浮世絵展示 東金、水田美術館で 26 点」（『千葉日報』2022 年 11 月 18 日）



## 101 写真展 スウェーデンのパパたち

2022年12月13日(火)～17日(土)

スウェーデンは世界で最も充実した育児休暇制度がある。子どもが8歳になるまでに父親と母親あわせて480日間の育児休暇を取ることができ、このうち90日間は父親に割り当てられている。しかし、育児休暇をすべて利用する父親はごく一部で、平等に取得している夫婦はわずか14%にすぎない。

このたびの展覧会では、6ヶ月以上の長期育児休暇中の父親と子どもの毎日を追った写真家ヨハン・ベーフマンによる「スウェーデンのパパたち」シリーズを展示した。ベーフマンは、長期育児休暇を取ることを選び、仕事やキャリアよりも子どもや家族と絆を深めることを優先させた父親たちに焦点を当てた。なぜこの父親たちは子どもと一緒にいることを選んだのか、どのような経験を得ることができたのか、結果として両親と子どもの関係がどうなったのか——。そこには、母親であるか父親であるかとは関係なく、普遍的な親の愛情が映し出されている。

スウェーデンのパパと子どもたちの悲喜こもごもの日常を切り取った写真とメッセージから、男女平等社会について考えるきっかけとなる内容であった。



### 出品目録

\*すべてスウェーデン大使館蔵

1. ヨハン、38歳、マテリアル・デベロッパー 「育児休暇の半分をエッベ、ティエラ、ステイーナと過ごす」
2. ルイ、28歳、アーティスト 「エリングと過ごす12ヶ月の育児休暇」
3. フレードリック、33歳、電気技師 「マイケンと過ごす9ヶ月の育児休暇」
4. ムラト、34歳、子どもの文化開発者 「ロヴェアに続きオスカルと過ごす8ヶ月の育児休暇」
5. マルクス、33歳、倉庫スタッフ兼ミュージシャン 「テッドに続きシグと過ごす8ヶ月の育児休暇」
6. ニルス、33歳、グラフィック・デザイナー兼イラストレーター 「ドリスに続きビビと育児休暇の半分を過ごす」
7. ウルバン、32歳、土木技師 「ホリエルと過ごす10ヶ月の育児休暇」
8. アーレ、29歳、看護師 「ローケと過ごす9ヶ月の育児休暇」
9. オーラ、41歳、バイヤー 「グスタフと過ごす8ヶ月の育児休暇」
10. サマード、32歳、建設技師 「パリサとレイアの双子と過ごす10ヶ月の育児休暇、最初の4ヶ月は母親も一緒」
11. マッティン、35歳、管理者 「マティルダに続きヴァルデマルと過ごす7ヶ月の育児休暇」
12. ウッフエ、41歳、ライフガード 「リリーと過ごす12ヶ月の育児休暇」
13. トーマス、34歳、教師 「シクステンと過ごす12ヶ月の育児休暇」
14. マグヌス、37歳、システム開発者 「ビッレ、イーベンと過ごす9ヶ月の育児休暇」
15. アンドレアス、39歳、保護観察調査官 「エリオットに続きサムと過ごす6ヶ月の育児休暇」
16. イブラ、41歳、管理者 「エッバに続きソフィーアと過ごす6ヶ月の育児休暇」



17. エーリック、31歳、医師 「育児休暇の半分をメッタと過ごす」
18. サイド、33歳、地域担当マネージャー 「アセムに続きアマナと過ごす6ヶ月の育児休暇」
19. ヨーナス、31歳、公共雇用サービスのケースワーカー 「シーリ、ロヴィーサと過ごすそれぞれ9ヶ月の育児休暇」
20. ピーター、33歳、ジャーナリスト 「ミーラと過ごす12ヶ月の育児休暇」
21. ユーアン、34歳、学生 「イーヴォ、アルマと過ごすそれぞれ9ヶ月の育児休暇」
22. ミラン、32歳、心理学者 「シーリと過ごす9ヶ月の育児休暇」
23. フレドリック、34歳、エンジニア 「最初の4ヶ月は息子のオッシャンのために配偶者と同時に育児休暇を取得し、その後半々に分担して育児休暇を交互に取得」
24. ヨーラン、27歳、学生 「リーヴと家にいるために10ヶ月休学」
25. ヨハン、33歳、写真家 「ヴィッゴと過ごす9ヶ月の育児休暇」

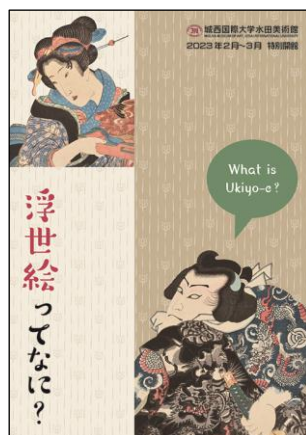
館内放映：スライドショー「スウェーデンはどのような国？」4分

広報記録：Art欄（『月刊ぐるっと千葉』2022年12月号）



## 2022 年度特別開館 浮世絵ってなに？

2023 年 2 月～3 月 学内行事にあわせ随時開館



### 出品目録

\*すべて当館蔵

1. 三代歌川豊国《古今名婦伝 下女お初》安政 6 年（1859）／大判錦絵／版元＝魚屋栄吉
2. 井上安治《東京真画名所図解 真間弘法寺》明治 17～22 年（1884～89）／4 つ切判錦絵／版元未詳
3. 歌川広重《不二三十六景 上総鹿楚（野）山鳥居崎》嘉永 5 年（1852）／中判錦絵／版元＝佐野屋喜兵衛
4. 歌川広重《富士三十六景 上総鹿（楚）野山》安政 5 年（1858）／大判錦絵／版元＝葛屋吉蔵
5. 歌川国芳《曲亭翁精著八犬士随一 犬塚信乃成孝・犬飼現八信道》天保 7～9 年（1836～38）／大判錦絵 2 枚続／（版元＝西村屋与八）
6. 月岡芳年《芳流閣両雄動》明治 18 年（1885）／大判錦絵 2 枚続／版元＝松井栄吉
7. 溪斎英泉《浮世風俗美女鏡 酒韻美如蘭茶神清如竹》文政 6、7 年（1823、24）頃／大判錦絵／版元＝若狭屋与一
8. 歌川国芳《一口淨瑠璃（璃）》天保 14～弘化 4 年（1843～47）／团扇絵／版元未詳
9. 歌川国直《娼家全図 新版》文化 12～天保 13 年（1815～42）／大判錦絵 3 枚続／版元未詳
10. 三代歌川豊国《近世水滸伝 四代目中村芝翫の競力富五郎》文久 1 年（1861）／大判錦絵／版元＝伊勢屋兼吉
11. 三代歌川豊国《三櫓稽古之大会》万延 1 年（1860）／大判錦絵 5 枚続／版元＝大黒屋金之助・金次郎
12. 歌川広重《東都繁栄乃図》安政 1 年（1854）／大判錦絵 3 枚続／版元＝井筒屋
13. 二代歌川国貞《八犬伝狗之草紙双六》嘉永 5 年（1852）／大判錦絵 6 枚続／版元＝葛屋吉蔵
14. 歌川芳虎《鬢着せ替え絵》安政 5 年（1858）／大判錦絵／版元＝山城屋甚兵衛
15. 歌川広重《山海見立相撲 安房清住山》安政 5 年（1858）／横大判錦絵／版元＝山田屋庄次郎
16. 歌川広重《六十余州名所図会 上総矢さしか浦 通名九十九里》嘉永 6 年（1853）／大判錦絵／版元＝越村屋平助
17. 二代歌川広重《諸国名所百景 下総舟橋大神宮》万延 1 年（1860）／大判錦絵／版元＝魚屋栄吉
18. 五雲亭貞秀《日本武将祖神関東三社眺望勝景》元治 1 年（1864）／大判錦絵 3 枚続／版元＝園原屋正助
19. 歌川国貞《荒馬吉五郎・小柳常吉》天保 13、14 年（1842、43）／大判錦絵 3 枚続／版元＝藤岡屋彦太郎
20. 歌川国貞《小柳常吉》天保 8～14 年（1837～43）／大判錦絵／版元＝山本屋平吉
21. 三代歌川豊国《東海道五十三対 島田之駅 大井川》天保 15 年～弘化 4 年（1844～47）／大判錦絵／版元＝遠州屋又兵衛
22. 山村耕花（豊成）《四代目尾上松助の蝙蝠安》大正 6 年（1917）／木版多色／版元＝渡辺庄三郎

23. 川瀬巴水《房州布良》昭和 24 年（1949）／木版多色／版元＝渡辺庄三郎

24. 平塚運一《南総海岸》昭和 3 年（1928）／木版多色／版元＝日本版画社



## Ⅱ-3 これまでの展覧会一覧

年度	回数	展覧会名
2001年度 [平成13]	1	城西国際大学水田美術館開館記念 浮世絵名作展 4月7日～14日
	2	JIU開学10周年記念 漢代画像石拓本展—刻された神仙の物語— 7月9日～28日
	3	JIU開学10周年記念 浮世絵版画のできるまで 9月19日～10月20日
	4	JIU開学10周年記念 江戸絵画名品展—音の祝宴— 10月30日～11月16日
2002年度 [平成14]	5	水田コレクション名品展—近代日本画の諸相— 4月15日～5月11日
	6	柳澤紀子展—水邊の庭— 6月11日～7月19日
	7	江戸の貞女・賢女・女傑—仁科又亮氏寄贈《古今名婦伝》を中心に— 9月25日～10月19日
	8	水田コレクション 浮世絵は楽し① 版型のヴァリエーション 11月2日～22日
2003年度 [平成15]	9	水田コレクション 浮世絵は楽し② 役者絵 4月15日～5月10日
	10	吉増剛造展 一滴の光 1984—2003 6月3日～7月19日
	11	房総の素封家と近代日本画壇—大観・紫紅とその周辺— 9月24日～10月25日
	12	水田コレクション 浮世絵は楽し③ 美人画 11月2日～22日
	*	13～15年度新収蔵品展示 12月20日～〈2004年〉1月28日の随時
2004年度 [平成16]	13	水田コレクション 浮世絵は楽し④ 版元と出版 4月13日～5月1日
	14	鴨川市所蔵藤澤衛彦コレクション 摺物 江戸の風雅な年賀状 前期 5月25日～6月12日 後期 6月22日～7月10日
	*	収蔵品特集展示《古今名婦伝》—江戸時代の女性像— 7月16日、24～26日
	15	房総ゆかりの画家 齊藤惇展—心に響く情景— 9月21日～10月23日
	16	水田コレクション 浮世絵は楽し⑤ 技巧と表現 11月5日～27日
	*	収蔵品特集展示 版画のいろいろ—拓本・浮世絵・銅版画— 12月11日～〈2005年〉1月29日の随時
2005年度 [平成17]	17	第1回メディア文化学科卒業制作優秀展 4月1日～7日
	18	水田コレクション名品展—四季の風物詩— 4月12日～5月7日
	19	東金ゆかりの美術 前期 5月26日～6月18日 後期 6月23日～7月16日
	20	近代の能画家 月岡耕漁展 9月22日～10月22日
	21	水田コレクション展 浮世絵は楽し⑥ 結髪 11月5日～26日
	*	第2回メディア文化学科卒業制作選抜展 〈2006年〉1月29日、30日
	*	第2回メディア文化学科卒業制作展 〈2006年〉2月9日～13日

年度	回数	展覧会名
2006年度 [平成18]	22	第2回メディア文化学科卒業制作優秀展 3月13日～18日、4月1日、11日～18日
	23	江戸土産としての浮世絵 広重《名所江戸百景》を中心に 5月9日～6月3日
	24	橋本博英展一色彩の交響曲― 6月27日～7月22日
	25	房総ゆかりの画家 石井林響展 後援団体「総風会」を中心に 10月3日～28日
	26	「房総風景」展―館蔵浮世絵コレクションより― 11月21日～12月16日
	27	第3回メディア学部卒業制作展 〈2007年〉3月14日～17日
2007年度 [平成19]	28	第3回メディア学部卒業制作優秀展 4月1日、10日～21日
	29	生誕120年 田岡春径展―房総に生きた南画家 前期 5月15日～6月9日 後期 6月19日～7月14日
	30	映像でふり返るアジア海洋映画祭イン幕張 9月20日～26日
	31	水田コレクション浮世絵名品展 特集＝判型 10月2日～20日
	32	房総の素封家と若き日本画家たち 山口蓬春を中心に 11月2日～12月1日
	*	収蔵品特集展示 房総ゆかりの美術 12月8日～〈2008年〉2月18日の随時
	―	ハンガリー作家二人展 レザーコラージュとフェルト作品 10月4日、5日 城西国際大学本部棟3階ギャラリーにて
2008年度 [平成20]	33	第4回メディア学部卒業制作優秀展 4月2日、8日～19日
	34	プルチョウ・コレクション あるジャパノロジストの視点―源氏絵、歌仙絵を中心に 5月13日～6月11日
	35	野田市郷土博物館所蔵 明治の匠・勝文斎の押絵行灯 6月24日～7月19日
	36	水田コレクション浮世絵名品展 特集＝役者絵 9月30日～10月18日
	37	酒井亜人展 日本画壇のモダニスト 11月1日～29日
	*	特別開館 収蔵品特集展示 旅と記憶 12月6日～〈2009年〉3月17日の随時
	―	
2009年度 [平成21]	38	浮世絵に見る子どもの情景 公文浮世絵コレクション・水田コレクションより 4月7日～25日
	39	忠臣蔵 近代木版画でたどる物語 6月9日～7月4日
	40	生誕100年記念展 銅版画の巨匠 浜口陽三 9月1日～10月3日
	41	水田コレクション 浮世絵名品展 特集＝美人画 10月31日～11月21日
	*	特別開館 収蔵品特集展示 伝説のヒーローたち 12月～〈2010年〉3月の随時
2010年度 [平成22]	42	第6回メディア学部卒業制作優秀展 4月2日、6日～17日
	43	旅の版画家 川瀬巴水―大正・昭和の懐かしい風景― 前期 5月25日～6月12日、後期 6月15日～7月3日
	44	森洋子展 子どもたちのみる夢 水田宗子詩集『サンタバーバラの夏休み』出版記念 7月6日～24日
	45	水田コレクション展 浮世絵の版元と出版 9月28日～10月16日
	46	石版画の開拓者 石井鼎湖 知られざる明治美術 10月30日～11月27日
	*	特別開館 収蔵品特集展示 物語と絵画 12月～〈2011年〉3月の随時
	―	

年度	回数	展覧会名
2011年度 [平成23]	47	浮世絵で遊ぶ 江戸の笑いと想像力 5月10日～6月4日
	48	近世版画の色と技 浮世絵から若冲の拓版画まで 6月21日～7月16日
	49	水田コレクション浮世絵名品展 四季の風物詩 10月4日～22日、11月5日～7日
	50	描かれた万葉の世界 近代日本画にみる古代への憧れ 11月15日～12月10日
	*	特別開館 収蔵品特集展示 子どもたちの時間 12月～〈2012年〉3月の随時
2012年度 [平成24]	51	第8回メディア学部卒業制作優秀展 3月15日～17日、4月3日～13日
	52	水田コレクション浮世絵展 結び髪 5月15日～6月2日
	53	佐藤辰作展 外房の風Ⅲ 6月19日～7月21日
	54	写真展 コーシャ・フェレンツの世界 多元時空 9月25日～10月13日
	55	江戸のスター参上! 役者絵のいろいろな楽しみ方 11月3日～12月1日
	*	特別展示 城西国際大学創立20周年記念特別展示 水田コレクション浮世絵名品展 江戸の視覚革命 4月28日、5月2日
	*	特別展示 高円宮殿下の思い出 2002年日韓ワールドカップゆかりの品々 5月22日、12月11日
*	特別開館 収蔵品特集展示 役者絵のいろいろ 8～9月、〈2013年〉1～3月の随時	
2013年度 [平成25]	56	水田コレクション展 浮世絵の判型 5月7日～25日
	57	第9回メディア学部卒業制作優秀展 5月30日～6月7日
	58	病に負けるな! 浮世絵にみる流行り病とくすり 6月18日～7月13日
	59	九十九里浜の網主文化 齋藤滄洲と文人の交遊 10月1日～26日
	60	明治の子どもたち 版画にみる遊びと教育 11月3日～12月7日
	*	特別開館 水田清子名誉理事長を偲んで 水田コレクション近代日本画の名品とゆかりの品々 3月15日、4月2日
	*	特別開館 水田家寄贈新収蔵品展 9月11日、14日
*	特別開館 収蔵品特集展示 房総の旅 7～9月、12月 〈2014年〉1～2月の随時	
2014年度 [平成26]	61	第10回メディア学部卒業制作優秀展 3月13日～15日
	62	水田コレクション新収蔵品展 4月2日、8日～26日
	63	浮世絵でたどる房総の旅 6月10日～7月5日
	64	水田コレクション浮世絵展 江戸のきもの 9月24日～10月11日
	65	糖業協会コレクション 日本近代洋画の輝き 前期 10月28日～11月15日 後期 11月18日～12月6日
	*	特別開館 収蔵品特集展示 近代木版画 伝統と革新 7月～9月、12月～〈2015年〉3月の随時

年度	回数	展覧会名
2015年度 [平成27]	66	第11回メディア学部卒業制作優秀展 3月14日、4月13日～17日
	67	水田コレクション浮世絵展 役者絵 4月2日、5月7日～23日
	68	創作版画でめぐるモダン都市東京 前期 6月2日～6月27日 後期 6月30日～7月25日
	69	水田コレクション 浮世絵美人競 10月1日～17日、11月1日～3日
	70	こどもたちのモダンライフ 1920-30年代児童雑誌の原画展 11月10日～12月5日
	71	高円宮コレクション現代根付展 〈2016年〉1月27日、2月1日～13日
	*	特別開館 JIUコレクション新収蔵品展 8月～9月、〈2016年〉2月～3月の随時
2016年度 [平成28]	72	メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展2016 4月12日～23日
	73	JIUコレクション展 I 浮世絵と近代木版画 5月17日～6月11日 II 5人の現代作家 6月21日～7月16日
	74	銚子・円福寺コレクション 近代日本画展 9月20日～10月15日
	75	北斎の弟子 昇亭北寿 洋風風景画の展開 11月5日～12月3日
	*	特別開館 水田コレクション展 浮世絵の版元と出版 4月2日、4日、7日
	*	特別開館 浮世絵でつづる房総人物伝 12月～〈2017年〉3月の随時
2017年度 [平成29]	76	浮世絵でつづる房総人物伝 1 義民 佐倉宗吾 5月15日～6月10日
	77	橋本博英展 光と風を感じて 6月27日～7月22日
	78	浮世絵の版元と出版 9月26日～10月14日
	79	東金が生んだ文人 安川柳溪 11月4日～12月2日
	*	特別開館 描かれた能 12月～〈2018年〉3月の随時
2018年度 [平成30]	80	メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展2018 3月15日、4月2日、9日～20日
	81	浮世絵でつづる房総人物伝 アウトローたち Part I 切られ与三郎 5月15日～6月9日 Part II 東金茂右衛門・天保水滸伝 6月13日～6月30日
	82	《昭和職業絵尽》にみる戦前の暮らし 7月10日～8月4日
	83	JIUメディアデザインラボ展 8月22日～25日、8月29日～31日、9月8日、9月18日～28日
	84	ホルバートコレクション 近代木版画 10月9日～11月10日
	85	水田コレクション 近代日本画の諸相 11月27日～12月15日

年度	回数	展覧会名
2019年度 [平成31]	86	メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展2019 3月15日、23日、4月2日、8日～12日
	87	森洋子の空想化石はくぶつかん 絵本原画と大石化石コレクション 5月14日～6月22日
	88	水田コレクション 浮世絵版画の技巧 7月9日～27日
	89	浮世絵でよむ南総里見八犬伝 9月17日～10月12日
	90	東金アーカイブスプロジェクト 携帯カメラで記録された東金の街並、自然、文化 10月29日～11月9日
	91	九十九里浜の網主画家 斎藤巻石 11月19日～12月14日
	*	特別開館 房総の伊達男たち 〈2020年〉1月～3月の随時
2020年度 [令和2]	*	特別開館 房総の伊達男たち 8月～〈2021年〉4月の随時
2021年度 [令和3]	92	メディア学部 後岡喜信教授退官記念展 JAPAN CHINA INDIA as BEAUTY 4月19～30日
	93	佐藤辰作 1970-2020 5月18日～6月12日
	94	プルチョウコレクション展 風俗画と源氏絵を中心に 6月22日～7月17日
	95	相撲浮世絵 房総の力士そろい踏み 11月16日～12月11日
	*	水田コレクション展 四季の風物詩 8月～11月の随時



### Ⅲ 教育普及

#### Ⅲ-1 講演会・ギャラリートーク等

「**斉藤好和 イラストレーション展 41年間の足あと（1980-）**」スライドトーク

「自作を語る」

日時：5月28日（土） 午後2時～3時

講師：斉藤好和先生

参加者数：31名

「**MADE IN OCCUPIED JAPAN ① アメリカに渡った陶製人形**」スライドトーク

日時：7月9日（土） 午後2時～（約30分） 担当：当館学芸員 参加者数：21名

「**近代日本画コレクション 茂原の素封家と画家との交流**」スライドトーク

日時：10月8日（土） 午後2時～（約30分） 担当：当館学芸員 参加者数：29名

「**水田コレクション展 四季の風物詩**」講演会

「浮世絵で見る四季—宮川長春《江戸風俗図巻》を中心に」

日時：11月26日（土） 午後2時～3時30分

講師：稲垣朋子氏（岡田美術館学芸員）

聴講者数：24名

「**水田コレクション展 四季の風物詩**」スライドトーク

日時：11月12日（土） 午後2時～（約30分） 担当：当館学芸員 参加者数：22名

#### Ⅲ-2 団体来館者への協力

申し込みのあった団体来館者、授業での使用に対し、展示品解説、施設説明などを随時行った。

授業 10件

その他 4件

#### Ⅲ-3 体験コーナー等

「**mini 貼交屏風をつくろう！**」

「近代日本画コレクション 茂原の素封家と画家との交流」

「**スタンプで掛軸しおりを作ろう！**」

「水田コレクション展 四季の風物詩」



## IV 収集

### IV-1 新収蔵資料

2022年度

購入＝版画10件 寄贈＝日本画1件

作者名	作品名	技法・サイズ等	制作年	購入／寄贈
三代歌川豊国	小柳・猪王山	大判錦絵3枚続 右36.8×25.2、中36.6×25.2、 左36.8×25.3cm 版元＝山口屋藤兵衛	弘化4年～嘉永2年 (1847～49)	購入
鶯斎	麻疹護調延寿鑑	大判錦絵2枚続 右35.9×24.6、左35.9×24.3cm 版元＝越嘉	文久2年(1862)	購入
無款	子供あそび さつきの戯	大判錦絵2枚続 右37.5×25.2、左37.5×25.5cm 版元未詳	明治1年(1868)頃	購入
歌川芳藤	新板子供あそび	大判錦絵 36.7×24.5cm 版元＝児玉又七	明治21年(1888)	購入
歌川広重	六十余州名所図会 下総 銚子の浜 外浦	大判錦絵 36.4×24.8cm 版元＝越村屋平助	嘉永6年(1853)	購入
歌川国貞	流行美人合 弁財天子供屋	大判錦絵3枚続 右36.2×25.0、36.3×25.0、36.3 ×24.9cm 版元＝葛屋吉蔵	文政10年～天保13年 (1827～42)	購入
三代歌川豊国・ 歌川芳虎	江戸乃花名勝会 な 六番 組 小石川 市川白猿の犬 山道節	大判錦絵 35.3×24.4cm 版元＝加藤屋清兵衛	元治1年(1864)	購入
豊原国周	開花人情鏡 十六 迎客	大判錦絵 36.3×25.1cm 版元＝小林鉄次郎	明治11年(1878)	購入
楊洲周延	東風俗福つくし へんふく	大判錦絵 35.8×23.3cm 版元＝武川卯之吉	明治22年(1889)	購入
守川周重	新板けしやう道具かんざし 尽	大判錦絵 37.0×24.8cm 版元＝綱島亀吉	文久3年(1863)	購入
酒井亜人	瓦塀のある風景	紙本着色、1面 24.2×27.1cm		寄贈

### IV-2 新収蔵図書

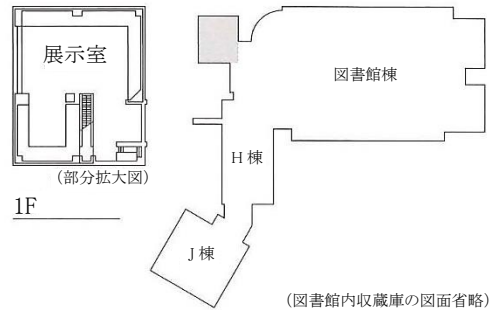
	購入	寄贈	合計
展覧会図録	2	22	24
その他	0	5	5
雑誌	0	17	17
合計	2	44	46

## V 城西国際大学水田美術館概要

### V-1 組織図

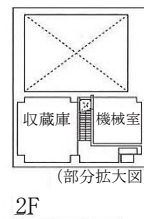
館長———学芸員

館長代行 佐野智子  
学芸員 堀内瑞子  
山口真理子



### V-2 施設

延床面積 277.2 m<sup>2</sup>  
構造 鉄筋コンクリート造 地上2階  
展示室面積 169.2 m<sup>2</sup>  
収蔵庫面積 72.0 m<sup>2</sup>



### V-3 利用案内

開館日 展覧会開催期間の火曜日～土曜日。大学行事にあわせ随時開館。  
開館時間 午前10時～午後4時  
入館料 展覧会によって異なる。高校生以下無料。障がい者手帳を所持する方と付添者1名まで無料。本学学生・教職員無料。  
交通 JR 外房線大網駅または JR 総武本線成東駅乗り換えで JR 東金線求名（ぐみょう）駅下車、徒歩5分。  
車では、京葉道路・館山自動車道の千葉東ジャンクションより千葉東金道路に入り、東金インター下車、国道126号線を成東方面へ約20分、信号「城西国際大前」右折。  
JR 東京駅、JR 横浜駅、JR 西船橋駅、JR 木更津駅、JR 千葉駅、JR 蘇我駅、JR 東金駅、JR 成東駅、京成成田駅よりシャトルバス運行。

---

城西国際大学水田美術館年報

第19号 2022（令和4）年度

2023年（令和5年）3月15日発行

編集 城西国際大学水田美術館  
〒283-8555 千葉県東金市求名1番地  
電話 0475-53-2562  
<https://www.jiu.ac.jp/museum/>